

目的	目標	事業実施主体	事業実施方法	目標値及び実績				大阪府の自己評価		第三者の意見
				目標値	実績	達成度	総合評価	評価の概要		
地域での食育の推進	地域での食育の推進	茨木市	課題解決にむけたシンポジウム等の開催 ・啓発資料の作成・配布 ・食育推進ネットワークポスター展の開催	栄養バランスの実践	82.4%	87.0%	105.6%	A	課題解決にむけたシンポジウムの開催について、栄養バランスに配慮した食生活を実践している市民の割合が低いことから、栄養バランス等に関する啓発資料が作成され、人が集まる商業施設にて、管理栄養士が栄養バランスに配慮した食生活や地産地消の推進についての説明をしながら配布された。また、食育ネットワークの構成団体と連携を図り、栄養バランスに配慮した食生活や地産地消などの食文化に関するポスター展も実施された。さらに、これらの取組について市のホームページでも情報発信する等、様々な場所での普及啓発により、イベントへの参加に関係なく幅広い年代の市民の栄養バランスに配慮した食生活の実践や食文化の保護・継承及び地産地消への理解や関心を高められたことは評価できる。今後ともこのような取組を続け、さらなる市民の食に関する意識の向上や理解の促進に努めてほしい。	啓発資料の作成・配布、食育推進ネットワークポスター展の開催の席上で、計562名に対して、管理栄養士等が市民に丁寧に説明を行った結果、栄養バランスに配慮した食生活の実践度の達成度105.6%、また、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合の達成度101.1%と目標達成できたことは高く評価できます。今後ますます栄養バランスに配慮した食生活や地産地消の意識向上を図るため、このような活動に取り組みしてほしいと思います。
				産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	76.1%	76.9%	101.1%			
	地域での食育の推進	枚方市	農林漁業体験の機会の提供 ・枚方市食農体験学習 ・農業体験の課題や効率的な実施方法等に関する意見集約及び検証	農業体験者数	1400人	1764人	126.0%	A	農林漁業体験の機会の提供について、令和3年度に農業体験指導関係者の意見を集約し、農に触れる機会の減少が農への理解や地域とのつながりの減少につながるという現状が浮彫りになったことから、令和4年度は実施枚数を増やし取り組まれた。農業体験を通じて食の大切さを知ってもらうため、市内小学5年生を主な対象とし、水稲を中心とした農作業体験を実施し、併せて地域の食材の大切さやおいしさに関する講話や収穫した農産物を利用して調理実習を実施する等、ほとんどの学校で生産から食まで一貫した取組が行われた。また小学生が農業体験をすることで、家庭に持ち帰り家族に伝えることから、家庭への啓発効果も期待でき、市民の食、農業に関する関心や理解の推進が図られたことは評価できる。今後とも本取組により多くの市民が農業体験を経験され、食や農業に関する関心の向上や理解の促進に努めてほしい。	8小学校で若い世代に農業体験させることにより、農業体験を経験した者の延べ人数の達成度126%、食品を購入する際に「産地や生産者を意識して農林水産物・食品」を選ぶ者の割合の増加の達成度128%となり、目標数値を上回ったことは高く評価できます。今後とも、枚方市民への食育推進活動を続け、食や農業への興味や関心の向上と、栄養バランスに配慮した食生活の実践や朝食の摂取などに努めてほしいと思います。
				産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	38.6%	49.4%	128.0%			
	地域での食育の推進	大阪市	食育リーダーの育成及び活動の促進 ・大学生食育リーダーの養成講座の開催 食文化の保護・継承のための取組支援 ・調理実習を伴う食育講座及び調理実習を伴わない食育講座 ・啓発資料の作成・配布	栄養バランスに配慮した食生活の実践	86.7%	95.9%	110.6%	A	食育リーダーの育成のための取組については、コロナの影響及び大学の改変により、受講者数を確保できなかったが、次年度にむけて、対象の拡大、講座内容の改変により受講者を確保しやすいよう改善を考えている。また食文化の保護継承のための取組については、大学生とも連携して作成した啓発資料を用いて、一般市民だけでなく中高生を対象とした食育講座や調理実習などを非常に多数実施された。さらに各講座では伝統食やにわの伝統野菜等の地元農産物を知り、面白い食習慣を促す内容となっていることは評価できる。今後とも継続して取り組まれ、市民への食育の推進に努めてほしい。	大学生食育推進リーダー養成講座(のべ2回)及び調理実習を伴う等の食育講座の開催(計246回)という積極的な活動を行った結果、栄養バランスに配慮した食生活の実践度110.6%、食文化の継承度201.7%、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合148.9%となり、目標数値を達成した点は高く評価できます。食育講座において郷土料理や伝統食、食事の作法等の伝統的な食文化を地域や次世代に伝えていく大阪市の活動については今後とも積極的に続けてほしいと思います。
				食文化の継承度	34.4%	69.4%	201.7%			
				産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	60.9%	90.7%	148.9%			
	地域での食育の推進	藤井寺市	食文化の保護・継承のための取組支援 ・赤ちゃんクッキング ・幼児クッキング ・小学生親子クッキング ・20歳以上の市民対象の教室 ・男性のための料理教室	栄養バランスに配慮した食生活の実践	70.5%	69.0%	97.9%	A	食文化の保護・継承のための取組について、主に赤ちゃんや幼児、小学生の子どもをもつ保護者等を対象とした地元農産物や伝統食の活用や栄養バランスのとれた日本型食生活に関する講義と料理実習を合わせた教室を多数実施された。特に小学生対象の講座については、食生活改善推進員と連携することにより、小学生が理解しやすい内容となるよう工夫し実施された。また参加者が教室で学んだことを家庭に持ち帰り、家族に伝えることで、家庭においても地元農産物や伝統の食材等について理解が進むとともに、レシピや講義内容を市のホームページで掲載することにより、市民へ参加されていない市民への食育の推進も図られる取組となったことは評価できる。今後とも引き続き継続して取り組まれ、市民への食育の推進に努めてほしい。	食文化の保護・継承のための取組支援として、赤ちゃんクッキング、幼児クッキング、小学生親子クッキング等の料理教室の事業を計38回実施したことにより、栄養バランスに配慮した食生活の実践度は97.9%と数値目標にやや届かなかったものの、食文化の継承度128.5%、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合127.8%となり、目標達成できたことは高く評価できます。栄養バランスに配慮した食生活の実践や、地域の食を普段の食事に積極的に取り入れることを推進する藤井寺市の活動については今後とも積極的に続けてほしいと思います。
				食文化の継承度	74.3%	95.5%	128.5%			
				産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	74.2%	94.8%	127.8%			
	地域での食育の推進	熊取町農業祭実行委員会	食文化の保護・継承のための取組支援 ・地域の伝統料理「熊取雑煮」の試食 ・地元ブルーベリーを使った新たな特産品の試食	食文化の継承度	81.4%	86.3%	106.0%	A	「熊取ふれあい農業祭」において、大阪調理製菓専門学校等と事前に密な打ち合わせを行った「熊取雑煮」の試食1000食、地元産ブルーベリーを使った新たな特産品の試食200食を準備し、参加者らに提供できた結果、食文化の継承度の達成度106.0%、また、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合の達成度110.1%となり、目標達成につながった点は高く評価できます。今後とも地域の食や食文化への関心や理解の促進のため、若い世代を中心とした町民への熊取町の食文化や郷土料理及び特産品に関する情報発信等、引き続きこのような活動に取り組みしてほしいと思います。	
				産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	86.5%	95.2%	110.1%			
地域での食育の推進	大阪いずみ市民生活協同組合	食文化の保護・継承のための取組支援 ・小学校等への出前授業含む食育講座 ・製造メーカー、NPO等を講師とした食文化継承等の調理体験・学習会	食文化の継承度	52.0%	84.5%	162.5%	A	食文化の保護継承のための取組について、当組合員にとどまらず、府民を対象を広げて実施された。出前講座については、府内小学校に赴き、バランスの良い食事の摂り方や地域の食材や食品の紹介等の講義だけでなく、日本で伝統的に食べられている大豆や豆腐をテーマに大豆の学習や豆腐づくり、食べ比べ等の体験を組合わせた学習会が実施された。自社が所有するミュージアムでは、館内の食育コーナーで参加者に日本型食生活や地域の食文化を体験学習してもらったこと、食品製造メーカー等を講師とした調理体験等による学習会も実施された。参加者が家庭に帰って家族に伝えることにより、その家族や地域の方々等にも広がり、多くの府民の食への理解、日本型食生活の普及及び食文化の保護・継承の推進が図られる取組となったことは評価できる。今後ともこのような取組を継続され、府民の食への関心と理解の促進に努めてほしい。	小学校等への出前授業含む食育講座を141回実施、製造メーカー、NPO等を講師とした食文化継承等の調理体験・学習会を39回実施するなど、革新的な活動を地道に開催された結果、食文化の継承度の達成度162.5%、産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合の達成度105.4%と目標達成した点は高く評価できます。今後ますます効果的かつ効率的に府民の食への関心と理解が深まるようにこのような活動に取り組みしてほしいと思います。	
			産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合	90.8%	95.7%	105.4%				